



AUE News



2013年5月1日

第 61 号

編集・発行

愛知教育大学広報チーム

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500

目次

● 行事予定(5月1-15日)

● トピックス

- ・「学生能への招待」展で実演
- ・事務職員と学長の懇談会
- ・天文台第81回一般公開
- ・名古屋市立名東高校が本学見学
- ・見学春のランチタイムコンサート

● お知らせ・報告・投稿

- ・外国人留学生ガイダンス
- ・2013年度科研費助成事業の本学分内定と中期計画達成3年間継続
- ・CO2排出削減事業の国内クレジット承認取得
- ・催しもの案内

行事予定(5/1-15)

- 1日(水) 教務企画委員会 (13:30～ 第二会議室)
学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)
- 7日(火) 経営協議会 (10:00～ KKRホテル名古屋)
- 8日(水) 役員会 (9:00～ 学長室)
役員部局長会議 (10:00～ 学長室)
- 14日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
- 15日(水) 代議員会 (13:30～ 第五会議室)
教育研究評議会 (代議員会終了後、第五会議室)
大学改革推進委員会 (16:30～ 第三会議室)

トピックス

「学生能への招待」展で実演(4/17)



本学の能楽部が主催する「学生能への招待」展[4月4日(木)～19日(金)]が、附属図書館のアイ♥スペースで開催され、17日(水)には、会場で実演が行われました。

同展は、学生能の活性化を目的に同部が企画し、一昨年に続いて2回目の開催。日本の伝統芸能に興味を持ち、学生能の活動を知ってもらうことで、活動に参加・協力してもらうのが目的です。日ごろの活動や、能の型の説明などを写真パネル20点で紹介し、能面6点も併せて展示。さらに、多くの方が普段はなかなか目にする事のない能舞台に触れてもらおうと、能の演目のクライマックスシーンの「仕舞」を披露しました。

演目は、「清経」「羽衣」「殺生石」。袴姿の部員がそれぞれ、清経の荒々しさ、羽衣をまとった女性の優美さ、キツネの妖怪の激しくも哀しい最期などを、舞と謡いで表現して、観客から拍手が沸き起こりました。部員の星咲花さん(情報科学コース3年)は「1年のクラブ・サークルオリエンテーションで先輩の能の実演を見て、“すごい”と憧れて入部。指導の先

生に教えてもらいながら、型を覚えて自分でも少しずつ表現できるようになるのが嬉しいです」と笑顔で話しました。

同部は 10 年ほど前に一度廃部になり、4 年前に復活。代表の岩田大輔さん（教育学研究科美術教育専攻、院 2 年）は「能は若い人に受け入れられていないので、能の面白さ、楽しさを分かってもらえるよう今後も活動していきたい」と抱負を語りました。



事務職員と学長の懇談会(4/19, 22, 26)

事務職員と松田正久学長との懇談会が 4 月 19 日（金）、22 日（月）、26 日（金）に計 4 回、本学第五会議室で開催されました。本年度が国立大学法人化後 10 年の節目に当たり、学長任期



の最終年度でもあることから、学長が職員に向けて改めてメッセージを伝えるとともに、職員からの意見を聞く機会にしたい、と初めて企画。各回約 1 時間で、非常勤職員を含めて、合わせて約 180 人が参加しました。職員のほとんどと数十人の非常勤職員が、いずれかの会に出席したことになります。職員に向けた学長の話に聞き入っていました。

学長は「国立大学法人愛知教育大学の目指すもの～職員の方々へ」をテーマに表やグラフを多く取り入れたデータをスクリーンに映しながら分かりやすく説明。教職員の労働環境の改善を目指してきたこと、大学を取り巻く状況、教員需要に影響する愛知県内の小中学生数の推移、国立大学改革の課題、本学の現状、ミッションや教職協働による大学発展、職員に期待することなどについて思いを伝えました。また、中期目標・中期計画、本学の特色ある取り組みや大学間連携による新たなプロジェクトも紹介し、本学発展の可能性にも触れました。

学長は「本学は教員養成を主軸に教養教育を重視する大学。学生には学びが、作りが、教員には教えが、究めが、職員には援（たす）けが、働きががある大学を目指している。運営費交付金の削減など経営状況は厳しいが、優れた学生の確保、女性の登用、大学情報の積極的公開などによって危機をチャンスに変え、アクティブでユニークな教育を実現し、地域に存在感のある大学づくりを進めたい。何よりも職員の方が本学の良さを認識して、さらに視野を広げて、一人ひとりの力を活かすためにお互いに壁を作らず、フラットな環境下で持てる力を発揮して生きがいを持って働いていただきたい」と語りかけ、職員を激励しました。職員からは職場の課題意識などについて質問や意見が出され、学長も丁寧に答えていました。



天文台第81回一般公開(4/20)



本学天文台で「第 81 回一般公開」が 4 月 20 日（土）午後 6 時から自然科学棟で行われました。この日は「子どものための講座と観望会」と題して、親子連れなど延べ 35 人が参加し、学生も 1 年～大学院までの 8 人がサポートに当たりました。

午後 6 時から「子どものための天文ミニ講座」。「星の名前七不思議・星座は誰が決めたのか～『星博士』をめざして～」のテーマで、澤武文特別教授

(理科教育)が講演。2年前から始まった「天文学検定」の3級レベルの『星博士』を目指す想定で、今回はその1回目。検定公式テキストから二つの章「星の名前の七不思議」「星座はだれが決めたのか」について解説が行われました。星座については名前の付け方や意味、季節ごとに見える主な星座が紹介されました。

観望会はあいにくの雨で中止になり、参加者は3D映像による「宇宙の旅」を体験。地球から現在知られている最も遠い大規模構造まで行き、木星と月に寄って地球に帰還する行程を、4年生の学生の解説で楽しみました。また、希望者は望遠鏡を見学もして、この日の一般公開は無事に終了しました。

名古屋市立名東高校が本学見学(4/23)

今年も高校生による大学見学が始まり、4月23日(火)午前、名古屋市立名東高校の2年生41人と教員2人が本学を訪れました。

バスで到着した高校生たちを秘書広報課の職員が出迎えて、説明会場の第五会議室へ案内。高校生たちは大学紹介DVDでの概要説明を受けました。さらに、同校卒業生で本学4年の学生が本学での学生生活や学びについて説明。学年ごとの時間割やクラブ活動など体験を交えて紹介。長期休みを利用して出かけたニューヨーク一人旅の写真を披露して、「教員を目指して



いるので勉強は忙しいですが、大学時代は自由な時間もあります。愛知教育大で自分のやりたいことに挑戦してみてください」と本学をアピールしました。高校生からは、クラブ活動や学食、授業について多彩な質問もあり、学生や職員が答えました。



その後の施設見学では、第一共通棟やガラス工房、第一福利施設などキャンパスを見て回り、講堂前で記念写真の撮影も。予定を終えてバスに乗り込んだ高校生たちは、見送る職員や学生に手を振って本学を後にしました。

春のランチタイムコンサート(4/24)



附属図書館の恒例イベント「ランチタイムコンサート」が4月24日(水)午後零時30分から、同館のアイ♥スペースで開催されました。

春は「新入生歓迎コンサート」と銘打って、音楽選修・専攻の3・4年生が出演し、サクソフーンやピアノの演奏、声楽の独唱など6演目が披露されました。オープニングを飾ったのは村松春香さん(音楽専攻3年)によるサクソフーンで、Rプラネル「プレリュー

ドとサルタレロ」をモダンで躍動感あるリズムで奏でました。木村友紀奈さん(音楽選修3年)はピアノでラフマニノフ「楽興の時 第4番」を演奏。難解なラフマニノフの楽曲を力強く、ドラマチックに表現。ラストは後藤新治さん(音楽専攻4年)による独唱で、モーツァルト「オペラ『ドン・ジョバンニ』より ドン・オッターヴィオのアリア「恋人を慰めて」」。優しく強く、表情豊かに語りかけるような歌唱で観客を楽しませました。この日は、新入生らしき観客の姿も多く見られ、先輩の熱演に盛んに拍手を贈っていました。



お知らせ・報告・投稿

外国人留学生ガイダンス(報告)



国際交流センターは「2013 年度前期外国人留学生ガイダンス」を4月10日(水)に実施、外国人留学生44人が参加しました。このガイダンスは、学期始めの4月と10月に毎年実施しているもので、外国人留学生の大学生活への積極的な参加や日本の生活環境への順応、在留・在籍に係る諸規則の遵守を促すことを目的としています。

開会にあたり宮川秀俊国際交流センター長からは「他人に迷惑を掛けないよう道徳やマナーをしっかり

り守り、勉学に励んで有意義な留学生生活を過ごしてください」と励ましの言葉が寄せられました。続く刈谷警察署員の講話では、交通ルールと防犯を中心とした安全指導とともに、地震や津波といった自然災害への対応についても説明が行われ、留学生はメモをとりながら熱心に耳を傾けていました。

留学生のうち約20人は、4月から本学での留学生生活をスタートさせたばかりです。今後、授業や課外活動を通じて本学教職員や学生のみなさんと交流する機会が多くあると思いますので、その際にはぜひ本学の学生生活などについてアドバイスをお願いします。



(教育創造開発機構運営課国際交流センター 宮内春菜)

2013 年度科研費助成事業の本学内定と中間計画達成 3 年間継続 (報告)

本年度の同事業新規応募件数は、113 件で教員数に対する応募率は 44.5%、応募対象者に対する応募率は 61.9%でした。新規内定数は 26 件で、内定率は 23.0%でした。この結果、新規と継続分を合わせた内定数は 98 件となり、もうすぐ 100 件に届きます。愛知教育大学中期計画では、「特に、科学研究費補助金については、申請件数 100 件、採択額 1 億円を目標とする」(http://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/H25_03_keikaku_130405.pdf P5) とし、達成に向けた取り組みを行った結果、この目標は中期目標 2 年目の 2011 年度に達成し、その後 3 年間継続しています。

本年度の交付額は、総額 122,466 千円で、内訳は直接経費 94,200 千円及び間接経費 28,260 千円です。間接経費の 30%相当分は、研究費として内定者に学内予算で付与する仕組みとしています。間接経費は本年度分が過去最大、直接経費は 2011 年度に次ぐ額となりました。

2013 年度採択数(継続分を含む)98 件の内訳は、基金分で基盤研究 C 60 件、若手研究 B 25 件、挑戦的萌芽研究 1 件の計 86 件、一部基金分が基盤研究 B 2 件、補助金が基盤研究 A 1 件、同 B 2 件、同 C 6 件及び若手研究 B 1 件の計 10 件となっています。これ以外にも研究成果公開促進費(学術図書)で申請 5 件のうち、2 件(本年度分は 2,369 千円)が内定しています。

また、附属学校教員も奨励研究 68 件の申請に対し、附属高校 5 件、附属岡崎中学校 1 件、附属岡崎小学校 1 件の計 7 件(2012 年度は 4 件)が採択されています。

科学研究費助成事業により、本学の学術研究の一層の向上が図られることを期待します。

(学長 松田正久)

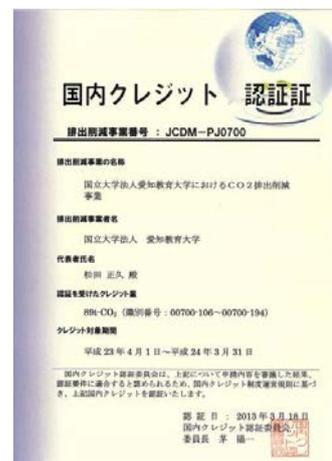
CO2 排出削減事業の 2013 年度国内クレジット承認取得(報告)

本学は 3 月 18 日付けで、CO2 削減事業の国内クレジット制度の 2013 年度の承認を取得しました。

国内クレジット制度（国内排出削減量認証制度）とは、温室効果ガス削減に取り組み、その削減分を売却できる仕組みで、経済産業省により 2008 年 10 月から開始されました。京都議定書目標達成計画に位置づけられた政府全体の温室効果ガス削減の取り組みであり、国際的に約束した日本の削減目標の一部に組み込まれています。具体的には大企業（主に*自主行動計画参加者）が中小企業（自主行動計画非参加者）から温室効果ガス削減分を買い取り自主行動計画の目標達成に活用できる制度です。これまで京都メカニズムクレジット購入のために海外へ一方的に流失していた資金を国内・地域への投資、排出削減に振り向ける目的もあります。

本学では太陽光発電設備の導入、変圧器の更新の申請を行い、2011 年 3 月の国内クレジット認証委員会にて計画承認されました。それにより、2012 年度は前年度の実績値より 105 t を認証され、2013 年度は 89 t が認証されました。この制度は 3 年間の有効期限があり、2013 年度の実績値により 2014 年度も同様に認証される予定です。また削減分の売却により、わずかながら大学収入にも貢献しています。

*自主行動計画とは、1997 年度より、各業界（産業部門、業務部門、運輸部門、エネ転換部門）が、業界単位で自主的に目標を設定し、その達成に向けて取り組んでいるもの。政府は、その確実な達成を担保するため、関係審議会等による評価・検証を行っている。



催しもの案内

◆第 44 回 子どもまつり

5 月 12 日（日）9：00～15：30

第一共通棟、第一・第二体育館など 入場無料、事前申し込み不要

開会式、子どもまつりキャラクターとの撮影会、ゲームやクイズ、プレゼント抽選会、ものづくりの体験など、子どもと学生がふれあう多彩なプログラムを実施。

問い合わせ：子どもまつり実行委員会ホームページ

<http://133.96.2.159/komaturi/41st-honsai.HP/>

◆第 44 回 大学祭

5 月 15 日（水）～19 日（日）

第一共通棟、第一・第二体育館などキャンパス一帯

テーマ：「虹～君だけの色を見つけよう～」

15 日～17 日はスポーツ祭。

18、19 日はミニゲーム、ビンゴ大会、お笑いライブ、バンド・ダンスのステージ、模擬店、フリーマーケットなど。新企画として起震車による地震体験も実施。

問い合わせ：大学祭実行委員会ホームページ

<http://www.aue-festival.aichi-edu.ac.jp/>

◆愛知教育大学天文台 第 82 回一般公開

5 月 18 日（土）14：00～20：30 入場無料、事前申し込み不要

自然科学棟 5 階・地学 538 教室、屋上・天文台など 雨天は観望会中止の場合あり

14：00～15：30 昼の観望会「昼間の星を見よう！」 観測天体：シリウス、太陽

14：00、14：30、15：00「3D宇宙の旅」上映会

18：00～19：00 天文ミニ講座。「隕石の衝突」について澤武文特別教授が解説。

19：00～20：30 夜の観望会「土星と月の観望会」「3D宇宙の旅」上映会

編集後記

5月にしてはちょっぴり肌寒い日が続いていますが、それでも学内ではピンクや白のツツジが咲き誇り、甘い香りを漂わせています。新緑もグラデーションをなして、この時期のキャンパスは本当に美しいです。カメラを片手に散策しながら、愛教大の豊かな自然を体感するこの頃です。



(K)

〈お知らせ〉

次号第62号は、都合により、6月1日付発行とさせていただきます。

投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール：kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者：総務担当理事 折出 健二